

小田原の地に根ざして114年  
新しい時代に向けた教育の創造

2017年度版

# 旭丘高校通信

(Q & A 学校案内)

**PART 1**

生きる力と結ぶ学びの創造

グローバル時代の私学

高校生の発達と自立を支援

普通科・総合学科

地域単位制総合高校

学校法人 新名学園 旭丘高等学校

# 旭丘高校の教育について校長先生に聞きたい

## —中学生の保護者の方の声から—

### Question

旭丘高校の創立の精神、教育づくり・学校づくりの特徴そして学校の沿革（歴史）などについて更に詳しく知りたいと思います。

（第1回体験入学セミナー学校説明相談会に参加した保護者の感想文より）

### Answer

#### ❖学校づくりの原点 — 創立者の建学の精神

新名学園旭丘高等学校は、1902（明治35）年、創立者新名百刀（女史）が、裁縫・造花・編物伝習所としてこの西湘・小田原の地に創設した学園です。今年10月1日をもって創立114周年目を迎え、普通科・総合学科を併置する全日制高校です。開学当時、地域社会の要請に応じて創立者が実践した「手に技をつける」ことによって女性の自立を図る教育は、女子の実学教育のさきがけをなすものでした。これ

は現在の「生活と教育を結合する」とした教育づくりに引き継がれ発展しています。また、新名百刀先生は、よく講話で、「悪しきとてただ一筋に捨つるなよ、渋柿を見よ、甘干しとなる」と話されました。一人ひとりの生徒の発達・成長の可能性を大切にす本校の学校づくりの原点がここにあります。（「小田原史談」第245号・『新名学園創立者 新名百刀の軌跡』〔宇佐美ミサ子著〕収録の新名百刀語録より）

#### ❖旭丘高校の教育の特徴 — 青年期発達教育

中学生の皆さんは、いま「第二の人間の誕生」と呼ばれる、人間の発達にとって極めて重要な節目となる時—青年期の入り口に立っています。青年期に必要な学びの課題は、「三つの『せい』」（①生命・生活の「生」、②男性・女性という性別の「性」、③政治の「政」という言葉で表すことができると思います。本校では、こうした課題に応えるため、教科（日常の授業など）と教科外（ホームルーム活動・

生徒会活動・クラブ活動など）の両面を関連させてカリキュラムを編成し、教師（集団）と生徒（集団）の関係だけでなく、保護者（PTAと父母懇談会）、同窓生、地域及び新名学園私学教育研究所の共同研究者などの様々な学校関係者と協力、共同し、子ども・生徒の人的成長と全面発達、社会的自立を図る学校づくりを進めています。

#### ❖学校づくりの基調 — 無償教育の実現

本校では、子ども・若い世代を、“社会の宝”として見て、国民みんなのお金（税金）で力を出し合っ未来の主権者を育てていく「無償教育」の考え方を学校づくりの基調としています。「無償教育」は、すでにヨーロッパの先進諸国をはじめ世界各国の常識となっており、日本でも2012年秋に後期中等教育（高校教育）の無償化を順次導入することを義務づけた国際人権規約第13条の留保が国会にて撤回されました。

こうした国際的動向もふまえ、本校では「地域立・市民立の私学」「公営私学（公費私学）」を将来像とする学校づくりを進めるとともに、子ども・生徒の就学権・学習権を保障するために学園・保護者・同窓生・地域で協力して国の就学支援金制度や県の学費補助制度を充実させるための取り組みを積み重ねて来ました。

（水野理事長・学校長と三輪定宣言私学教育研究所所長の学園創立110周年記念・神奈川新聞紙上対談より）

VOICE

ホームルーム活動を通じた仲間とのかかわりのなかで「自分は一人ではない」と感じられました。学習に対しても意欲的に取り組める自分になっていきました。基礎から教えてくれる学び直しの授業や体験型・問題解決型の学習等を通して、学ぶことの楽しさを感じるとともに、やればできるという手ごたえも感じてきました。

VOICE

福祉の授業で地域の障害者の方と出会ったことが、自分の人間に対する見方を変えてくれました。ハンディがあり、社会的に弱い立場にあっても、人としての誇りを持って生きている姿は、自分に自信のない私よりもずっと輝いていました。大切なのは、共に生きることだと気づかれました。いま大学で福祉を学んでいます。

VOICE

中学校のときは人とかかわるのが苦手で、引きこもりになっていたときもあった私。中学校の先生のすすめで旭丘高校の体験セミナーに参加しました。その授業はとてわかりやすく、サポート役の先輩たちも優しくていいので、「この学校だったら私も変われそうだ」と思い入學しました。

仲間との絆！  
学ぶって楽しい！  
夢を発見！

旭丘高校で自分を変えた私たち

# VOICE

VOICE

生徒会活動を通して、保護者や地域の方々、全国の高校生とも交流する経験をさせてもらい、他人の意見を取り入れて自分の学びをさらに深めていくことが出来ました。また、私たちが多くの人たちに支えられて学校生活を送っていることも実感し、自分もまた人や社会のために働いていける人間になっていきたいと強く思うようになりました。

VOICE

勉強でわからないことを教え合い、将来の進路について語り合い、友だちに支えられた3年間でした。高校での、食とからだ、健康の問題にかかわる多面的な角度からの授業を通して、将来は管理栄養士の資格をとって医療機関で働きたいという自分の目標を手に入れることができました。

VOICE

旭丘高校の授業は基礎からきちんと教えてくれるので、基礎ができていなかった私には毎日が新しい発見でした。「分からないのは恥ずかしいことじゃないんだよ。大切なのは分かるうとする気持ちを持ち続けること」と優しく話してくれた先生の一言が、閉ざしていた自分の心を開いてくれました。

VOICE

以前の自分は、何事にも中途半端で、途中で投げ出し、人との関係もどこかであきらめていました。けれど、旭丘高校でホームルームの班長として粘り強く取り組み続けたとき仲間がそれに応えてくれることを実感しました。自分にもこんなことが出来るんだという新しい発見も、人との新しい関係を築けたように思います。



表紙の写真は「3人の鍛冶屋」の像です。

この像は、国際学力比較調査「PISA」で常に上位に入っているフィンランドの教育を象徴するもので、首都ヘルシンキ中心街の市民の広場に設置されています。本校で最も大切にしている人と人との「交わり」「協働」「共同」をテーマにこの像は創作されています。



# 一人ひとりの夢を実現

## 先輩たちが語る

### 進化する旭丘高校の進路・進学指導

#### Q2 旭丘高校の生徒はどうやって大学への進路を決めていますか。

**A2** 旭丘高校ではまず、「将来どんな仕事に就きたいのか」「大学でどのような専門分野で学びたいのか」といった大学進学を自分で作ることを大切にしています。僕は、旭丘で充実しているパソコン関係の授業を通して現代社会における情報科学の重要性を感じ、大学で学ぶ分野を決めました。生徒会活動で報道の大切さを実感しメディア関係に進んだ先輩、課題研究(インターンシップ)で農業の現場を体験し、もっと知識と技能を身につけたいと農業系の大学を選んだ友だちもいます。自分探しの体験がたくさんできるのが旭丘高校です。



#### Q3 受験勉強に苦手意識があるのですが、大学に行けるでしょうか。

**A3** 大学入試には一般入試の他にも、指定校推薦、公募推薦、AO入試(自己推薦入試)など様々な方法があります。旭丘高校では、先生が私たち一人ひとりに合った受験方法をていねいにアドバイスしてくれます。指定校推薦は、旭丘高校の教育の内容やこれまでの卒業生の実績などをふまえて大学ごとの推薦枠が設けられているので合格の確実性が高く安心です。私は、授業とインターンシップで福祉の仕事に対する見方を深め、確かな目標を持っていることをAO入試の自己推薦でアピールし、合格できました。



#### Q4 総合学科大学進学・学業進学クラスのカリキュラムの特徴は何ですか。

**A4** 一つ目は、基礎となる国語と英語の単位数が多く、手厚い指導を受けられることです。僕の場合、中学校時代は英語が苦手でしたが、1年生のときに基礎からていねいに教えてくれ、スピーチコンテスト出場の機会も与えられ、自分の英語力に自信ができました。二つ目は、進学クラスでも、多彩な選択科目の中から関心のある分野の授業を受講できること。また、3年次にインターンシップができることです。こうした授業などを通して自分の進路目標をしっかりとつかんでいたからこそ、一般受験で大学合格を果たせたと思います。



#### 教育現場で働く先輩からのメッセージ

#### 旭丘高校での学びが、教師としての今の自分に生きています。

神奈川県立の総合学科高校に、専任教員として勤務しています。高校時代にいろいろなタイプの仲間と交わったことが、教師としての今の自分のなかに生きています。たとえば、発達上の課題を抱えた人は、いま勤務している学校にもいます。そういう人にも素直に関われるのは、旭丘高校でのホームルーム活動や学校行事・授業などのおかげです。社会にはさまざまな人が生活していると知り、人に対する見方・考え方を広く深く考え、理解することができるようになったからだと思います。

さまざまな分野に進む生徒たちを指導していくには、広い分野に関心や知識を持って生徒の進路への関心を受けとめたり、アドバイスする必要があると思います。旭丘高校の総合学科の教育で広げてもらった視野を持ち続けたいと考えています。



# 体・徳・知をバランスよく育む 新設・大学進学スポーツクラス

**Q5** 新設される総合学科学大学進学・スポーツクラスは、どんな生徒を対象としていますか？

**A5** このクラスでは、二つのタイプの生徒の学びと進路実現を図ります。

一つ目は、旭丘高校の重点クラブに所属し、高校時代に全国大会出場などの戦績をあげることに挑戦し、その実績をもとに推薦で大学への進路を拓く「アスリート」タイプの生徒です。二つ目は学業とスポーツの両面で充実した高校生活を過ごすことを通して、指定校推薦やAO入試等を活用して大学の健康・スポーツ分野の学部・学科に進学し、将来は健康・スポーツ分野に係る仕事に就きたいと願う生徒です。



**Q6** 旭丘高校でスポーツ分野の学習やクラブ活動をする魅力とは？

**A6** 授業とホームルーム・生徒会、クラブの活動が響きあって総合的な学びが出来ることだと思います。私は高校3年間陸上部に所属し、生徒会の学年委員もつとめてきました。いまは、保健体育科の教師になりたいと願い東京女子体育大学で学んでいます。

教師を志望したのは、陸上部や学年委員の活動で先輩や仲間とかかわるなかで、人に何かを教えることが自分のことも見つめ直すことになり、

相手と自分がともに成長できると感じたからです。また、3年次の課題研究で保育園に行ったときには、「からだ」の授業で学んだ現代の子どもたちの体力のことや鉄棒の指導法のことなどがとても生きて役に立ちました。

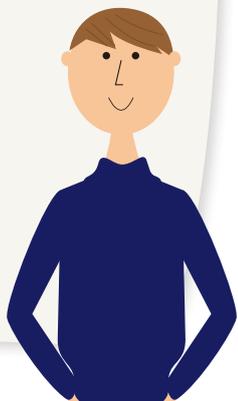


## 体育大学で学ぶ先輩からのメッセージ

### 相撲とは人生を変えてくれたとても大切な存在

私は高校3年間相撲部に所属し、稽古に励んできました。同じ目標に向かい、仲間とともに努力し何かを成し遂げたときは、本当に素晴らしい輝きの瞬間です。相撲はスポーツのなかでも最速で勝敗が決まる競技で、立会いに全神経を集中し、力を全力で出し切ります。先生からは、身体の一つひとつの動作をあらためてとらえ直すことともに、武道家としての礼、相手を尊重することを指導していただきました。このことが、日常生活の中でも、心と身体をコントロールし、相手への気配りができる自分の行動につながってきたと感じます。

私にとって相撲とは人生を変えてくれたとても大切な存在です。いま、日本体育大学体育学部武道学科で、この魅力的な相撲を教える指導者になることを目標に日々精進しています。



### 総合学科全体のスポーツ分野の カリキュラムもさらに充実

現在、総合学科の総合選択科目・自由選択科目群には、「武道（相撲・剣道）」、一つの競技種目の力量を高める「スポーツ特別講座」、「エアロビクス」、「からだ」などの講座が開講されていますが、さらにスポーツ分野の科目の充実を図っていきます。総合学科進路探求クラスに所属し、高校3年間スポーツに親しみながら自らの心身の基礎をつくり、進路実現を図りたいという生徒の皆さんの願いも答えていきます。

# 学び直し、積極的に進路を拓く クリエイティブクラスでの学び

**Q7** クリエイティブクラスに入って自分が変わったなと思うところはありますか？

**A7** まず、授業がわかるという手応えがあることです。教科書とノートというスタイルだけでなく、先生が私たちに合わせてプリントをつくり、一回一回の授業でそれをやり切るように指導してくれるのがよいです。勉強が好きになって来ました。友だちとの

関係も、一緒にクラスの活動や学習に協力し合って取り組む関係になり、自分ではちょっと大人になった感じがします。

旭丘を受験する皆さんには、クリエイティブクラスは少しずつゆっくりといてねいに学べて、自信もつくし楽しいよと言いたいです。



**Q8** クリエイティブクラスで好きな授業は何ですか？

**A8** 「言語」の授業です。一つ一つの言葉の意味や使い方を基本的なところから勉強し直すことができます。班で助け合って学習する雰囲気も好きです。あらためて理解を深めた言葉を使って作った文を発表し合うことで、他の友だちの自分とは違った考え方を発見し、逆に自分を見つめなおすきっかけになります。

「数量」も好きです。数学がよく分からなくなったまま高校に入ったのですが、数式の意味を生活と結びつけて教えてくれる旭丘の授業でよく分かりました。今から思うと、以前は理解しないままただ覚え込もうとしていただけでした。



## 不登校生徒の再スタートを応援 ベーシッククラス

**Q9** ベーシッククラスを選んだのはどうしてですか？

**A9** 中学生のとき自分は、同級生や近所の大人など他人の視線が怖くて、ずっと家にこもっていましたが、でも、中学校3年生の担任の先生が「今の自分でいいんだよ」と自分を認めてくれたことで一歩を踏み出し、旭丘高校の体験入学に参加することができました。体験入学で、一人ひとりの中学生の話をしていねいに聞いてくれる先生や、自分と同じような悩みを抱えながら高校で変化・成長している先輩たちと触れ合い、「この学校なら自分を受け止めてくれる。再出発ができそうだ」と感じ、志願を決めました。

**Q10** ベーシッククラスから大学進学はできますか？

**A10** ベーシッククラスから大学に進学した先輩はたくさんいます。僕自身も、体験入学で出会った先輩たちにあこがれ、旭丘高校では思い切って班長と学年委員に立候補。困難を抱える仲間と関わるようになり、あらためて、人はそれぞれ異なった状況の中で、さまざまな感じ方・考え方をしているのだと実感しました。

仲間の声を良く聞き、相手の状態に合った働きかけをしていくことの大切さに気づき、大学で人間のことについて学んでいきたいと進路の目標を定め、指定校推薦で大学に進学しました。



### ベーシッククラスの教育課程の特徴

❖教科カリキュラムにおいては、「基礎的な学力の回復（学び直し）」「交わりと自立（社会性の育成）」「進路を拓く（キャリア教育）」の三つの柱を重視し、「交わりとことば」「からだ」「生活の数学」等の学校設定科目を取り入れた編成をしています

❖ベーシッククラスでも、ホームルームづくり、リーダー育成や班活動、学級での話し合い、きまりづくりなど、集団生活を通して閉じた身体と心を開き、青年期の発達を保障していきます。

※ベーシッククラスは、普通科の生徒と総合学科の生徒が同じ教室で学ぶミックスホームルームを編成しています。

※万が一入学後不登校状態になった場合、一部の単位を通信制の教育方法で履修・修得できる制度があります。（文部科学省の特別認可校）

UNIQUE



## 旭丘高校にしかないユニークな授業（その1）

### 「課題研究」（インターンシップ）

総合学科3年次、4・5月のオリエンテーションの後、6月から2月まで毎週1日、同じ職場で働く体験をする授業です。1月には、それぞれの職場体験を発表・交流します。職業観・労働観を培い、進路実現と社会的自立に向けた力を育てます。なお、普通科にも「社会見学」があり、同様に職業観・労働観を培う場となっています。

★今後の「旭丘高校通信」（毎月発行）で続けて旭丘高校のユニークな授業を紹介していきます。

VOICE

卒業生の声

### 進路実現のテコになった インターンシップ



私はいま、自動車整備の専門学校で学んでいます。小さいころ、父の働く姿を見て、自動車整備士の仕事に憧れを抱いていました。そして、高校3年ときの課題研究の授業が、夢を現実にしていくきっかけを与えてくれました。

専門学校で扱っているような教材のための自動車ではなく、実際にお客様の車を整備していくことの緊張感は、いまでも忘れられません。真剣に実習を重ねるなかで、多くのことが学べました。お客様に信頼される整備士を目指して、今まで以上にがんばっていこうと思います。

## 地域と結ぶ武道教室

—地域の未来をひらく青少年の人間力の育成を目指して—

### 「第2回夏季少年相撲教室」を開催

旭丘高校第2校地に設けられた相撲場は、土日と放課後は地域の子どものための相撲教室として開放されています。こうしたつながりを活かし、8月23日に昨年に引きつづき大相撲の伊勢ヶ濱親方（第63代横綱旭富士）と伊勢ヶ濱部屋の協力をえて新名学園主催「第2回夏季少年相撲教室」を開きました。今年は七月の名古屋場所優勝力士・横綱日馬富士や有望力士の参加もあり、幼児から中学生までの約60名以上の少年たちへの技の基本の稽古やサイン会・握手会が一段と盛り上がりしました。



また、会場には西湘地区の国会・県会・市会の議員、教育行政関係者、地元自治会役員など多数の方々が集まり、地域の相撲振興を支援されました。

今年の少年相撲教室には、日本体育大学体育学部武道教育学科で学ぶ卒業生やモンゴル出身の2名の留学生（相撲部員）も参加、創部6年目にしてインターハイ鳥取相撲大会に団体戦で

初出場した快挙のこともあって、会場は昨年以上に活気を見せていました。

### 「第1回地域剣道錬成会」を開催

8月25日、「西湘地域の剣道教育発展のお手伝いをして、地域社会を担う人材の育成の力になること」「地域の剣道指導者の協力のもと、子どもたちの剣道技術と審判技術の向上を図ること」を目的に、本校第2校地体育館を会場として「第1回地域青少年剣道錬成会」を開催しました。



当日は学校や道場の枠をこえて約80名の小・中学生が集まり、交流試合を行うとともに本校剣道部の顧問や部員と竹刀を合わせ、剣道技術と心身の鍛錬にはげみました。

本校は、今後も地域の人たちと力を合わせ、「礼に始まり礼に終わる」日本古来の武道（相撲・剣道）を通しての人づくりと人間力の育成を目指していきます。

## 来て、見て、聞いてください。旭丘高校の学校生活 体験入学セミナーでみなさんをお待ちしています。

旭丘高校の入試制度のことや、卒業生の具体的な進路先、学費のことなど、さらに詳しく旭丘高校のことを知りたい人は、ぜひ体験入学セミナーに参加してみてください。わからないことや不安なことについて、先生方や先輩たちがていねいにアドバイスし、励ましてくれます。

旭丘の先輩たちと出会い、この高校なら自分を変えられそうだと思います。

（体験入学に参加した皆さんの感想から）



生徒・保護者・先生の良い関係が印象的でした。

高校生活の具体的なイメージが湧き自分の居場所が見つかりそうだと感じました。

★国の就学支援金制度と神奈川県に学費補助制度を活用することで学費負担は大きく軽減されます。ぜひ体験入学で相談してみてください。